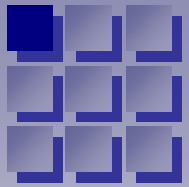


海上保安庁における海洋調査について

海上保安庁 海洋情報部



沿革

- 1871年(明治4年) **兵部省水路局**として発足

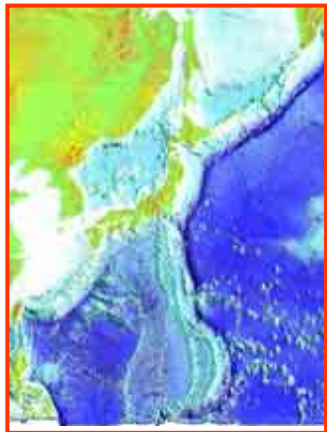


今の海洋情報部

今の築地市場



海図第1号(明治5年)
「陸中國釜石港之圖」



- 1886年(明治19年) 海軍水路部
- 1948年(昭和23年) 海上保安庁水路部
- 2002年(平成14年) 海上保安庁海洋情報部

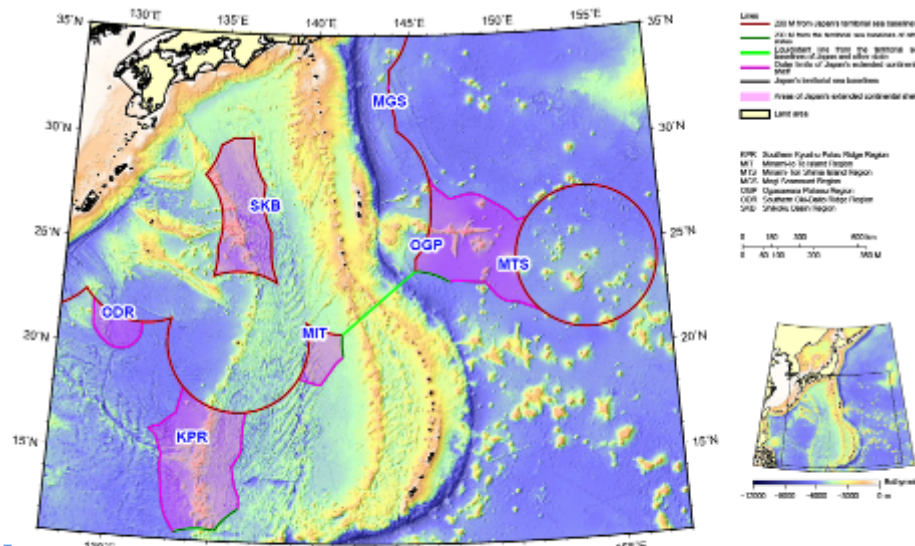
海のMapping Agency

「日本近海水深図」
(1929年)

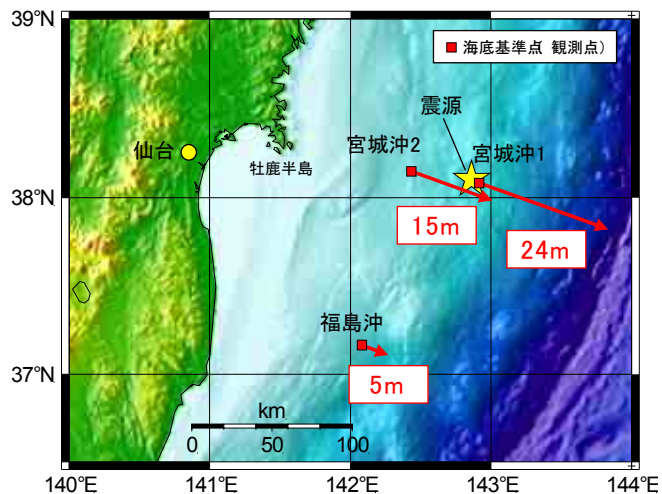
海上保安庁の海洋調査の目的



航海安全: 海図作成のための調査



海洋権益確保: 大陸棚調査、領海・EEZ調査

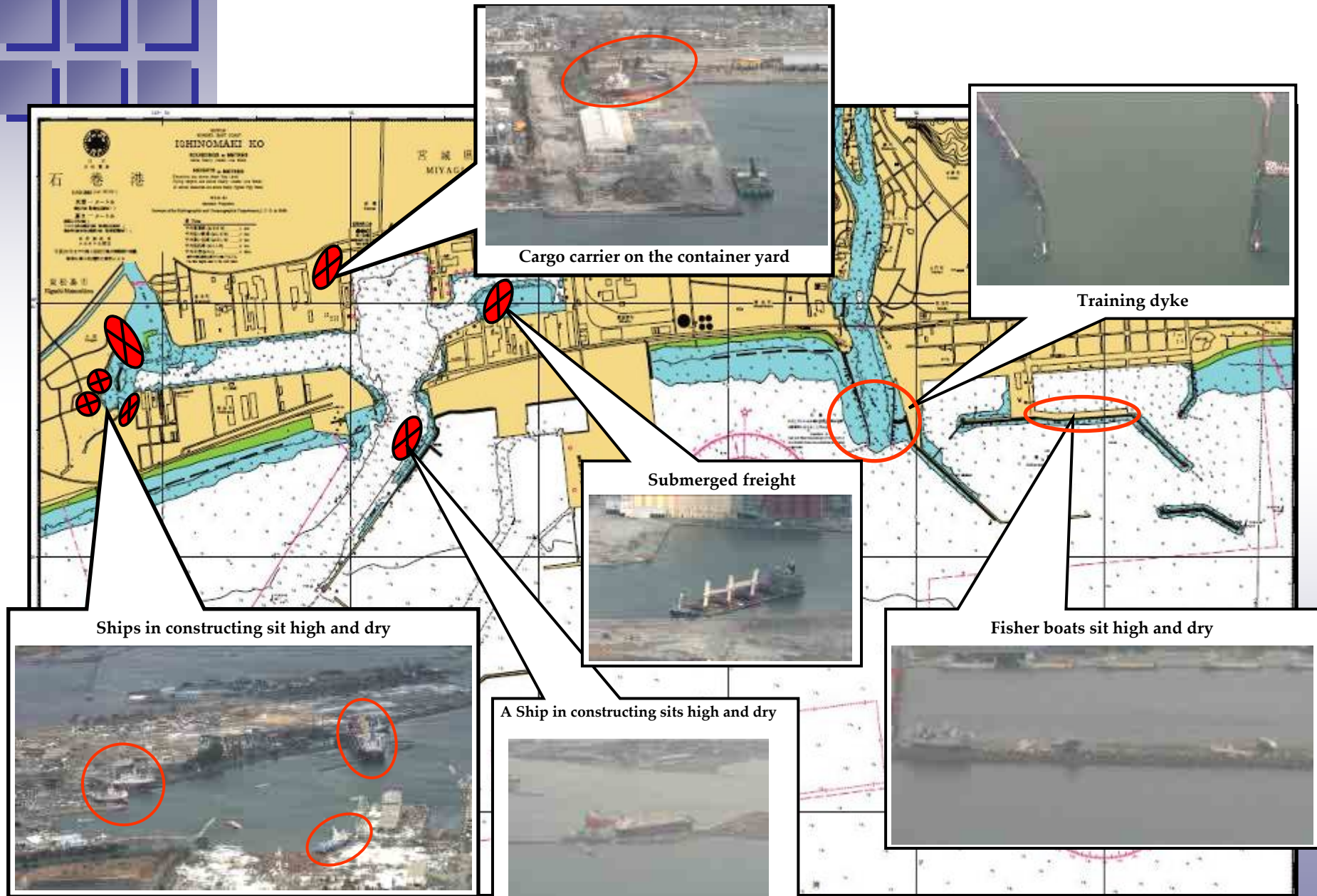


環境保全: 海洋汚染調査
放射能調査

海難救助: 漂流予測に必要な
海・潮流観測

防災: 地震予知・火山噴火予知に必要な情報の整備

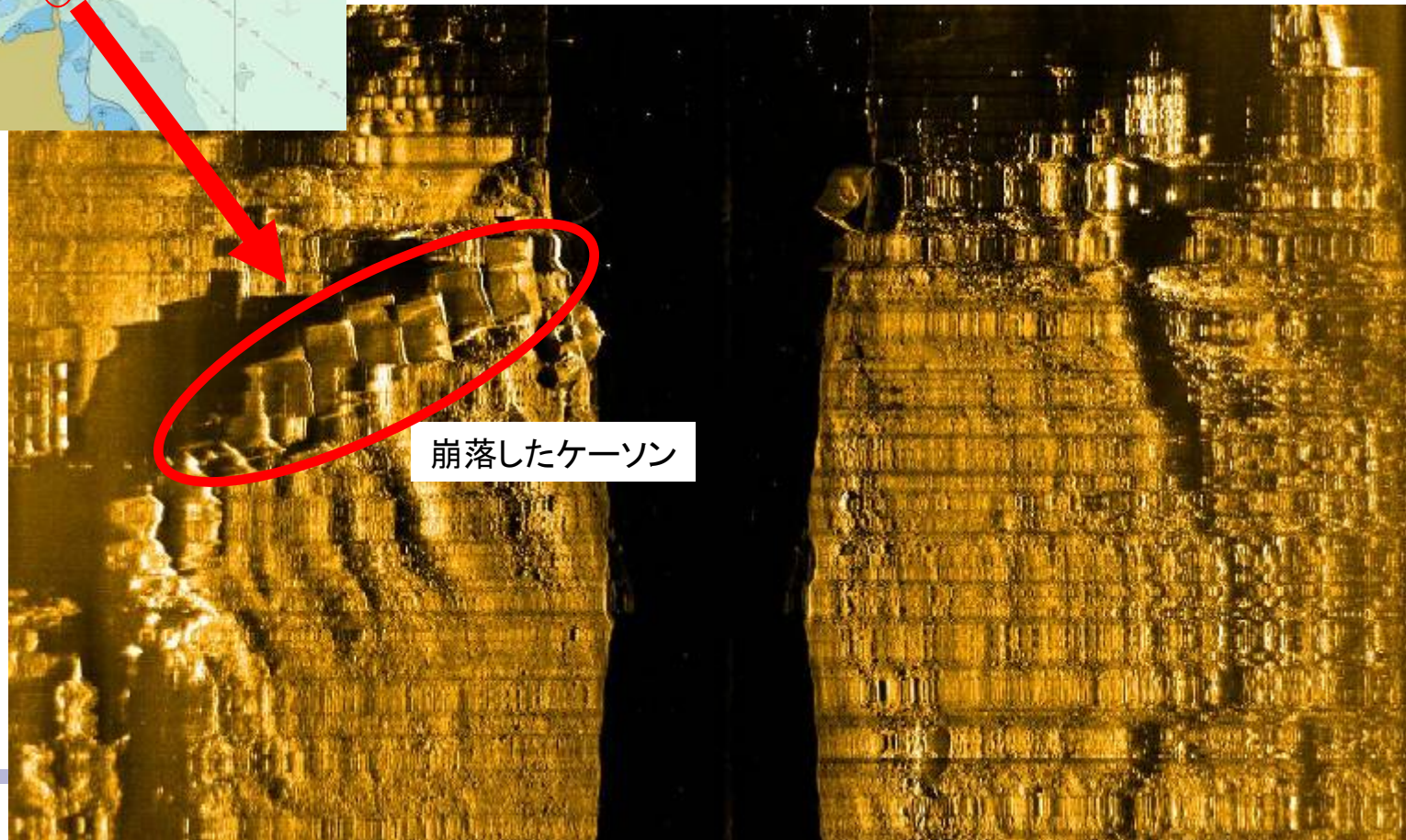
東北地方太平洋沖地震津波により被災した港湾(石巻港)



大船渡港



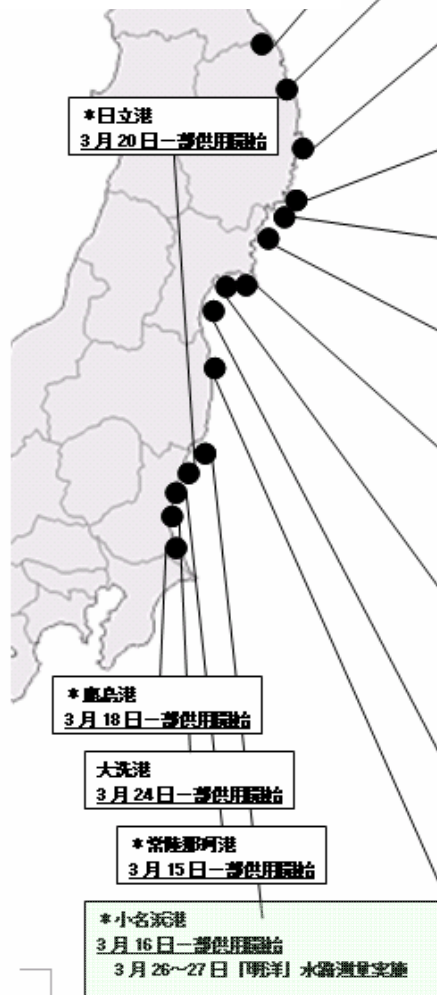
サイドスキャンソナーイメージ



緊急輸送路確保のための調査

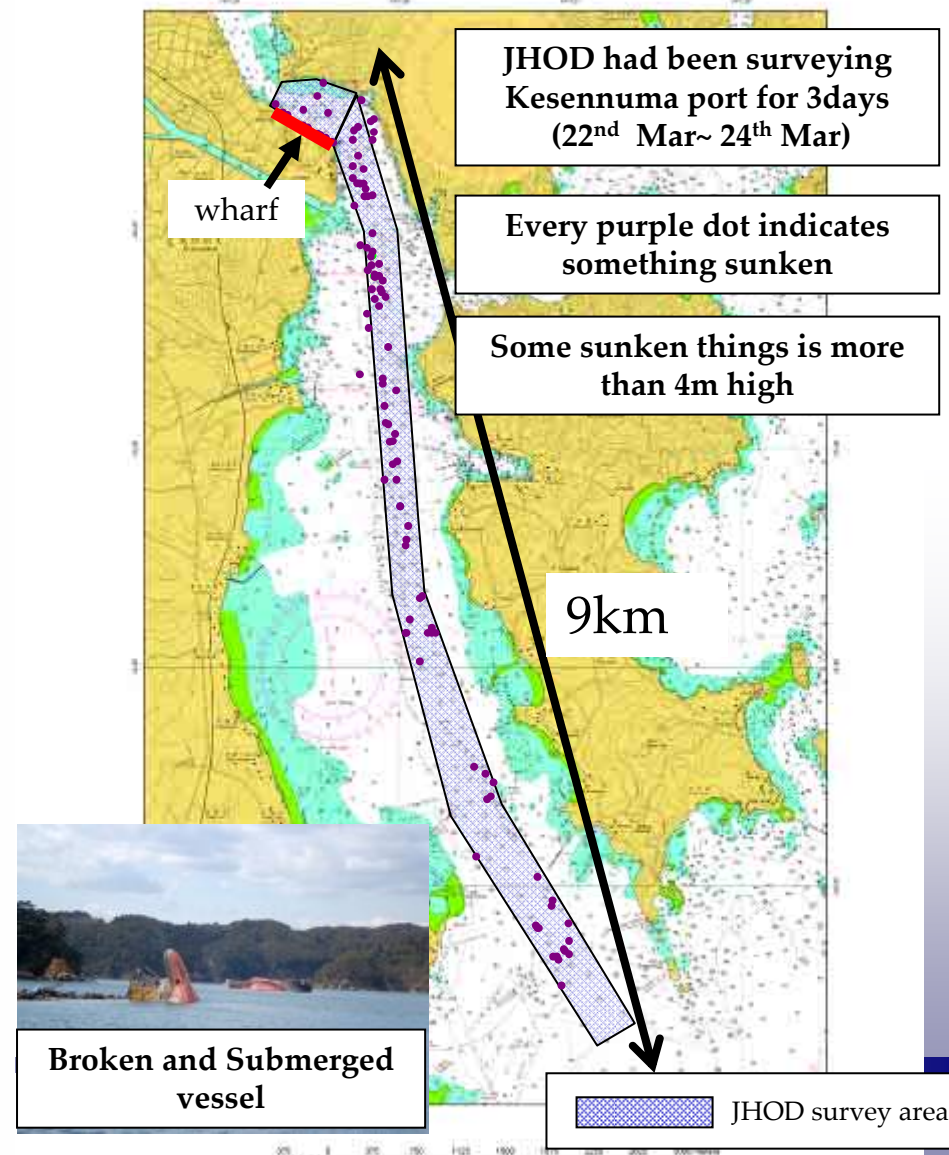
As of 19th April

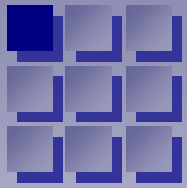
JHOD surveyed 11 port since the disaster



- *八戸港
3月19日一部供用開始
3月16~18日「昭洋」水露測量実施
- *久慈港
3月20日一部供用開始
3月19日「昭洋」水露測量実施
- 宮古港
3月17日一部供用開始
3月15~16日「天洋」水露測量実施
4月15~16日「昭洋」水露測量実施
- *釜石港
3月15日一部供用開始
3月14~15日「海洋」水露測量実施
4月9日~14日「昭洋」水露測量実施
- *大船渡港
3月22日一部供用開始
3月20~22日「昭洋」水露測量実施
- *気仙沼港(地方港汽)
3月26日一部供用開始
3月22~23日「拓洋」水露測量実施
3月23~24日「昭洋」水露測量実施
- *石巻港
3月23日一部供用開始
3月23~24日「天洋」水露測量実施
4月18日「天洋」水露測量実施
- *仙台塩釜港(塩釜区)
3月21日一部供用開始(-A.9m喫水制限)
3月17日「しまかせ」港内調査実施
3月17日「拓洋」「海洋」水露測量実施
3月18~21日「拓洋」水露測量実施
3月25日喫水制限解除
4月15~17日「天洋」水露測量実施
- *仙台塩釜港(仙台区)
3月18日一部供用開始
3月15日「明洋」水露測量実施
3月16日「明洋」「拓洋」水露測量実施
3月17日「明洋」水露測量実施
4月3~5日「海洋」水露測量
4月9日~11日「明洋」水露測量実施
- 相馬港
3月19日一部供用開始
3月25日「天洋」水露測量実施
- *は岸壁の追加供用のあった港

気仙沼港





海上保安庁の海洋調査勢力



総トン数: 約 3,000 トン
主要寸法 (全長×巾×深): 98.0×15.2×7.8m
航続距離: 約 12,000 海里

拓洋



総トン数: 約 2,600 トン
主要寸法: 96.0×14.2×7.3m
航続距離: 約 12,000 海里

昭洋



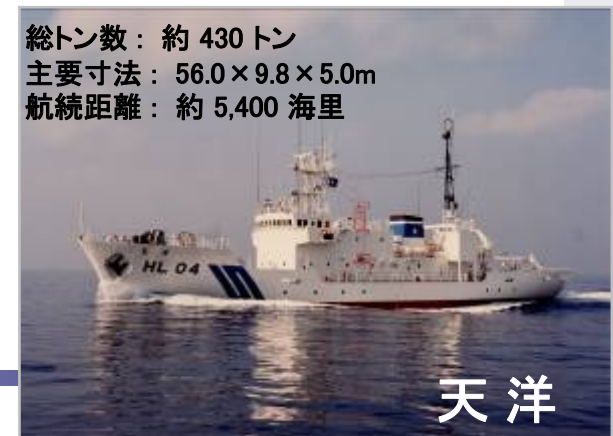
総トン数: 約 550 トン
主要寸法: 60.0×10.5×5.0m
航続距離: 約 5,000 海里

明洋



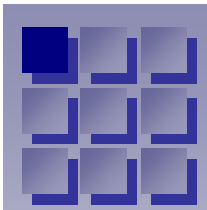
総トン数: 約 550 トン
主要寸法: 60.0×10.5×5.0m
航続距離: 約 5,000 海里

海洋

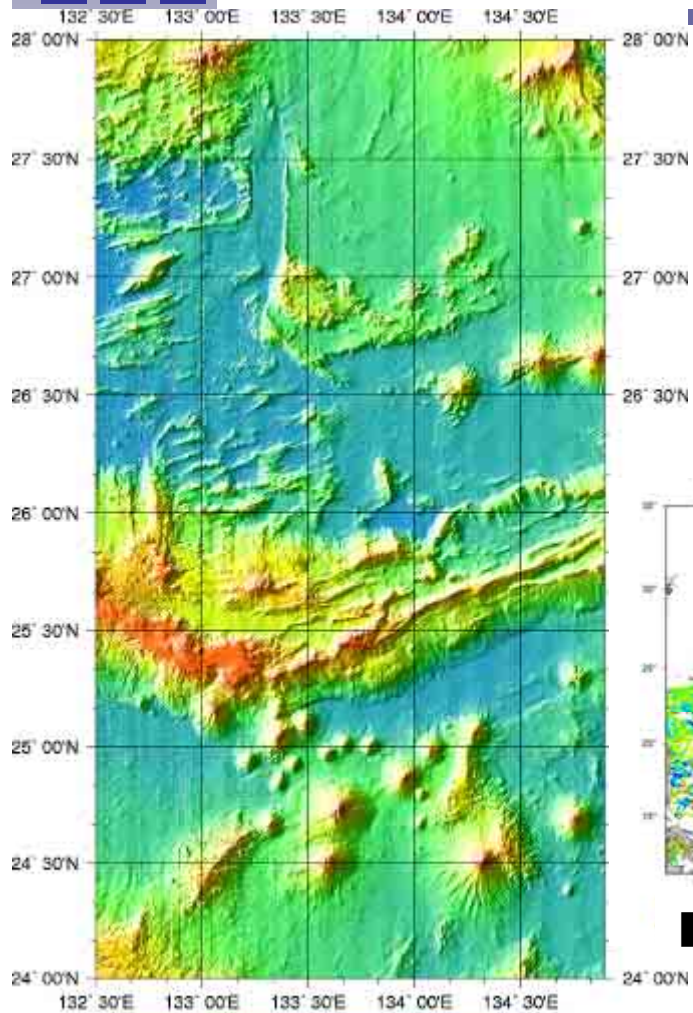


総トン数: 約 430 トン
主要寸法: 56.0×9.8×5.0m
航続距離: 約 5,400 海里

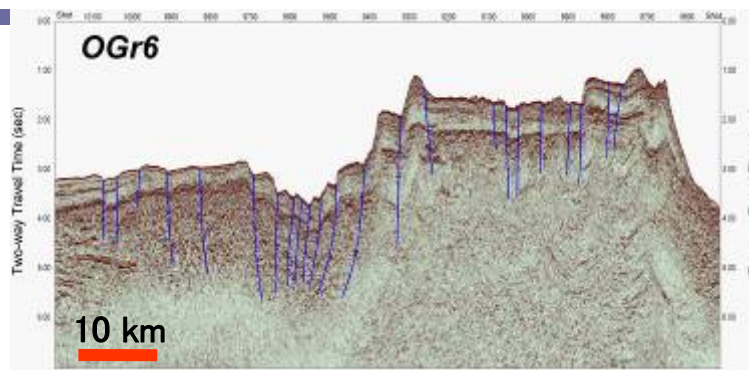
天洋



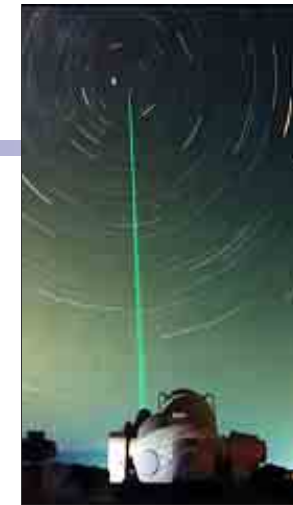
海上保安庁の調査項目



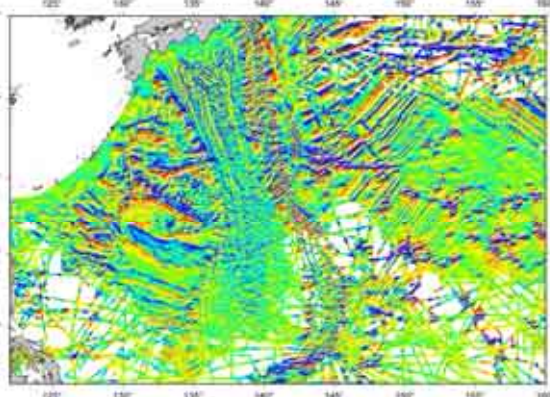
■ 海底地形



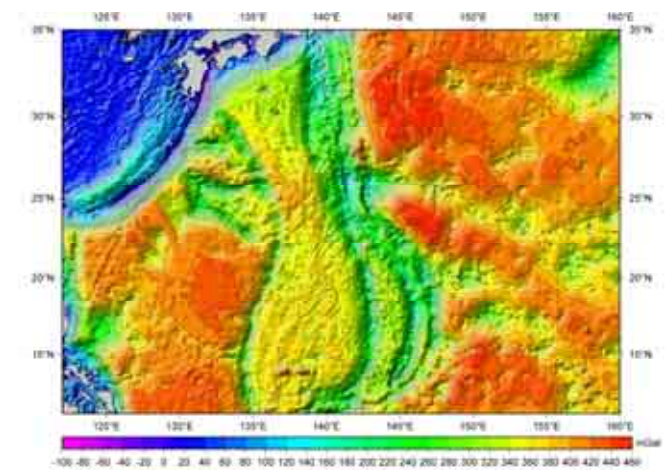
■ 地質構造



■ 測地



■ 地磁気

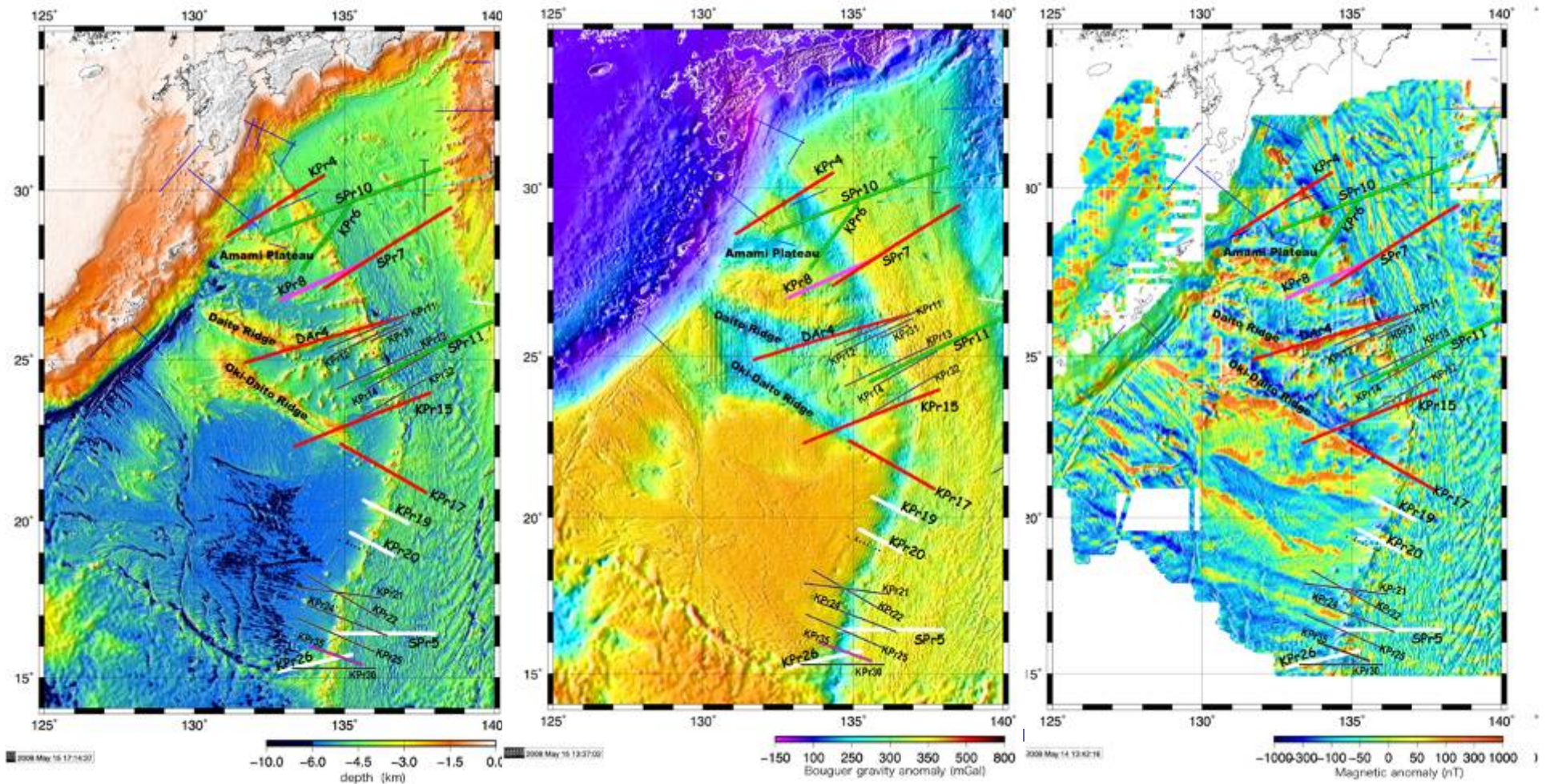


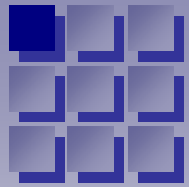
■ 重力

■ 水温・海潮流・化学分析等・・・

海上保安庁の調査の特徴

海上保安庁は**長期的**・**広域的**・**計画的**・**均質な**調査、又最先端の機器を使用した調査により地形・地質等、地球物理学的マッピングにより貢献が可能

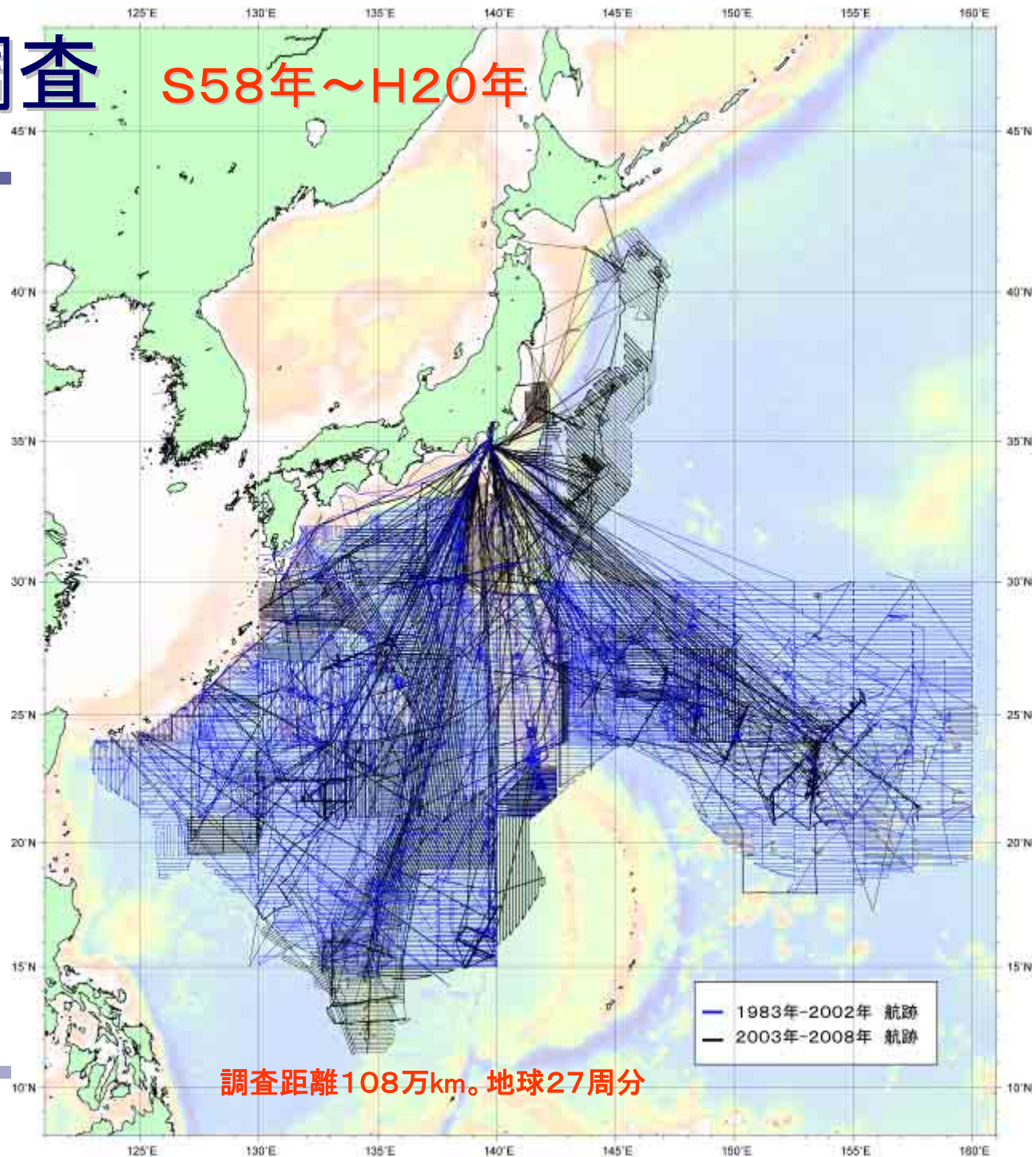


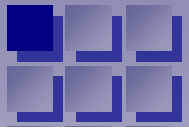


大陸棚調査

S58年～H20年

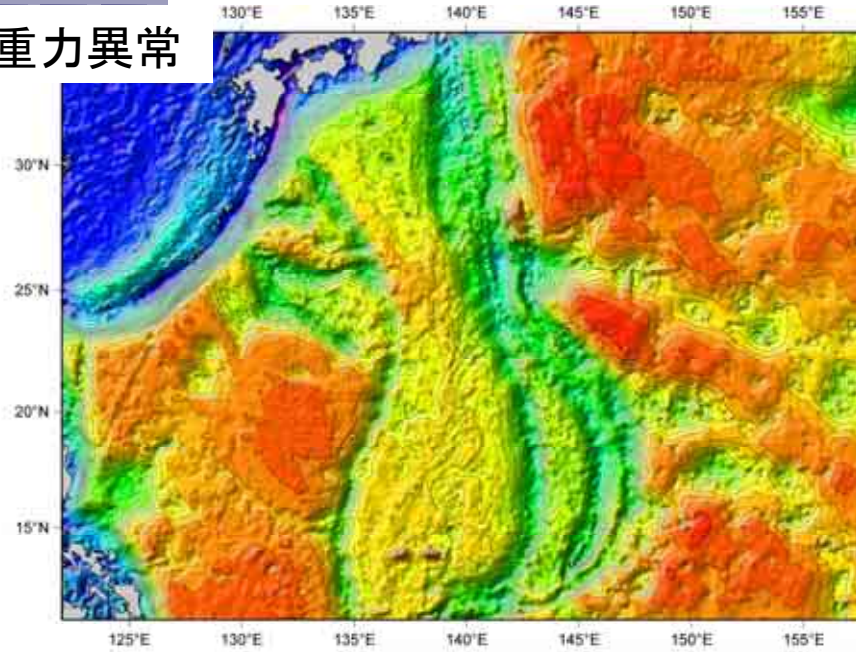
大陸棚の限界の申請
平成20年11月12日
「大陸棚限界委員会」へ提出



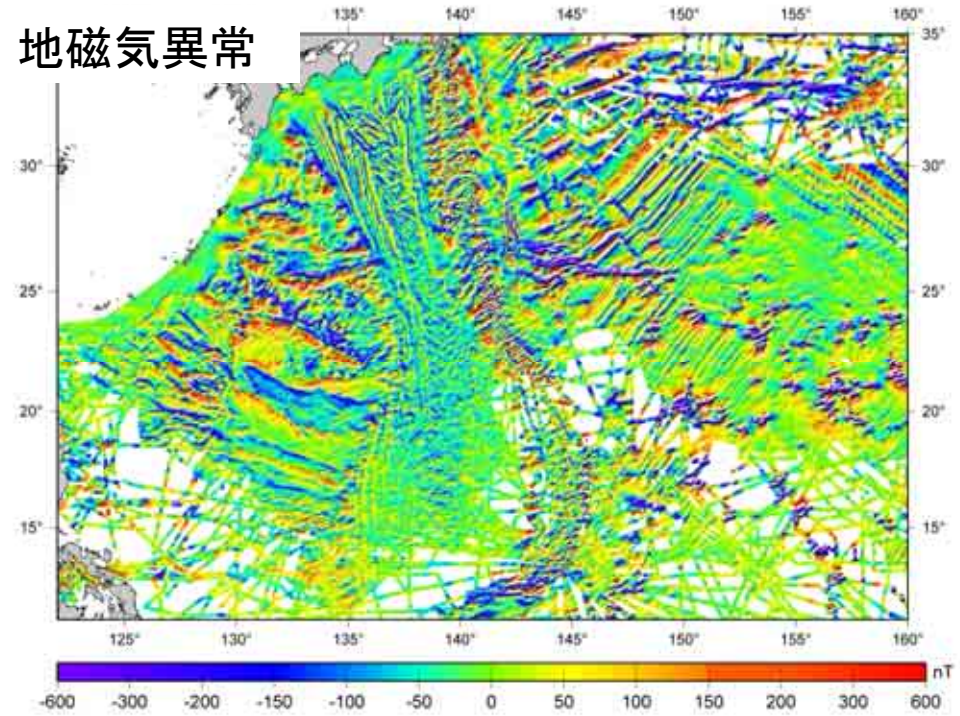


大陸棚調査の成果 海上保安庁

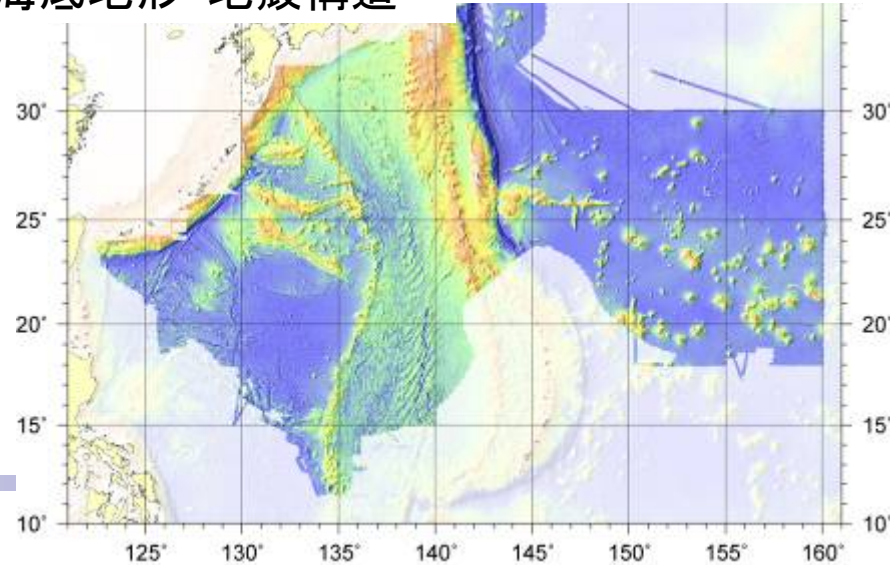
重力異常



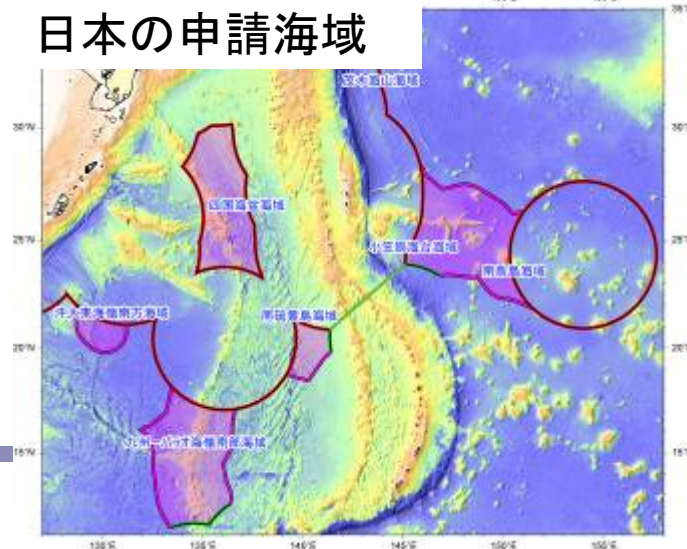
地磁気異常



海底地形・地殻構造



日本の申請海域



大陸棚調査での府省連携



地殻構造探査
(JAMSTEC)

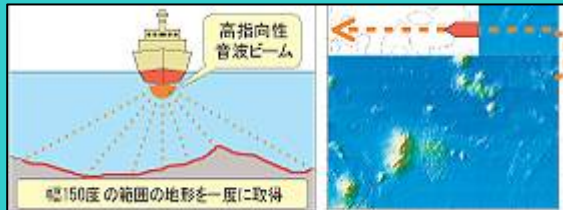


文部科学省

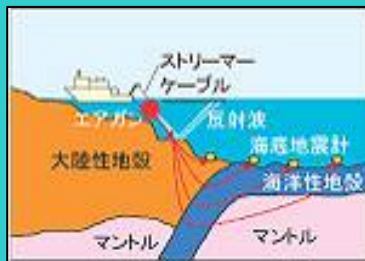
海上保安庁

総合調整：内閣官房

精密海底地形調査



地殻構造探査



経済産業省

基盤岩採取(産総研・JOGMEC)



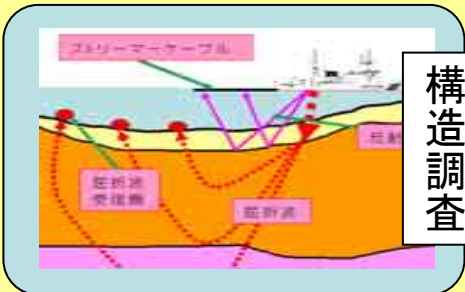
領海・EEZ調査

H20年～

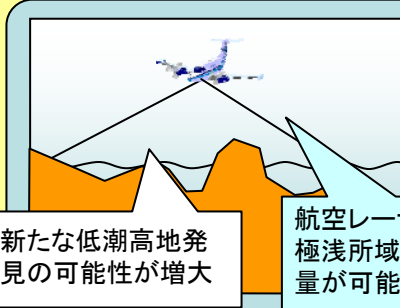
海洋調査の推進



海底地形調査



海底地殻構造調査



領海基線調査

新たな低潮高地発見の可能性が増大

航空レーザー測深機
極浅所域での水深測量が可能

海洋に関する基盤的情報の整備

調査成果の効果

海洋権益の保全

- 領土・領海・EEZの保全

海洋の開発・利用・保全等

- 海洋の安全の確保
- 海洋環境の保全
- 海洋資源開発

新たな海洋立国の実現

- 海上保安庁は、長期的・広域的な海洋調査により
海底の地球物理学的マッピングを実施
- 今後も最新の調査機器を活用して
より詳細な海底地形を把握
- 取得したデータは、海洋の開発・利用・保全に貢献



“うみまる”

ご静聴ありがとうございました



“うーみん”